

平成25年11月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成25年11月26日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	15時23分	
3 出席委員	委員	曾田佳代子	
	委員	渡辺勝志	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	橋本拓治	教育次長	渡辺和夫
統括審議監	佐々木辰昭	審議監(学校教育担当)	天野和弘
審議監(生涯学習担当)	直本正明	教育企画総務課長	長瀬尚樹
人事財務課長	荻野拓志	指導課課長補佐	平井秀尚
次長(保健体育課長)	長畑智	文化財課長	乗岡実
スポーツ振興課長	畑太志	次長(こども企画総務課長)	奥野淳子
こども企画総務課課長補佐	中吉浩一郎		
事務局(教育企画総務課課長補佐)	高木宏	事務局(教育企画総務課主任)	宗田朋子
5 議題及び結果			
報告第11号	専決処理の報告[平成25年度岡山市一般会計補正予算(第3号)案のうち、教育委員会分の教育費予算案への同意について]		承認
報告第12号	専決処理の報告[平成25年度岡山市一般会計補正予算(第3号)案のうち、スポーツ振興課分の教育費予算案への同意について]		承認
報告第13号	専決処理の報告[平成25年度岡山市一般会計補正予算(第3号)案のうち、岡山っ子育成局分の教育費予算案への同意について]		承認
報告第14号	専決処理の報告[平成25年度岡山市学童校外事故共済事業費特別会計補正予算(第1号)案への同意について]		承認
報告第15号	専決処理の報告[私有自動車の破損に係る和解及び損害賠償の額を定めることへの同意について]		承認
6 教育長等の報告 [平成25年10月12日(土)～平成25年11月15日(金)]			
10/12～10/13	自然体験リーダー養成講座(ステップ2)	こども企画総務課	
10/13	岡山市ジュニアオーケストラ新入団員対面式	こども企画総務課	
10/16	いきいき学校園づくり(平島小学校)	指導課	
10/17	いきいき学校園づくり(高島中学校)	指導課	

10/18	いきいき学校園づくり（御津中学校）	指導課
10/19	おかやまESDオータムフェスタ ジュニアオーケストラ 金管・打楽器アンサンブル参加	こども企画総務課
10/19	埋蔵文化財センター企画展特別講演会	文化財課
10/19	幼稚園の先生と遊ぼう	文化財課
10/21	いきいき学校園づくり（第一藤田小学校）	指導課
10/22	いきいき学校園づくり（平井小学校）	指導課
10/23	岡山大学，県教委との連携協力会議	指導課
10/23	いきいき学校園づくり（御休幼稚園）	指導課
10/24	いきいき学校園づくり（陵南幼稚園）	指導課
10/24	わらべうたで遊ぼう	文化財課
10/26～10/27	自然体験リーダー養成講座(ステップ3)	こども企画総務課
10/27	うたのコンサート	文化財課
10/30	いきいき学校園づくり（浮田小学校）	指導課
10/31	いきいき学校園づくり（御津幼稚園・金川保育園）	指導課
11/1	いきいき学校園づくり（福浜幼稚園）	指導課
11/3	わくわく子どもまつり in 岡山ドーム	こども企画総務課
11/6	いきいき学校園づくり（御休小学校）	指導課
11/7	いきいき学校園づくり（東山中学校）	指導課
11/7	平成25年度岡山市青少年健全育成大会	こども企画総務課
11/8	いきいき学校園づくり（福浜中学校）	指導課
11/11	平成25年度第40回岡山市文化奨励賞授賞式	文化財課
11/13	いきいき学校園づくり（上道中学校）	指導課
11/14	いきいき学校園づくり（京山中学校）	指導課
11/15	いきいき学校園づくり（旭竜小学校）	指導課
渡辺委員	○ ジュニアオーケストラ新入団員の対面式について。5名とのことだが、多いのか少ないのか。	
こども企画総務課長	○ 例年より若干少なめだ。	
渡辺委員	○ 例年は，何人ぐらいか。	
こども企画総務課長	○ 例年は7～8名である。	
教育長	○ 来年度は50周年になる。	
渡辺委員	○ 入団者は経験者なのか。	
こども企画総務課長	○ 試験もあるし，経験もある人だと思う。	
教育長	○ バイオリンなど初めての人がいたと思うが。	
曾田委員	○ 専属の指導者がいるのか。	
教育長	○ パートごとの指導者がいる。高校生，大学生も何人か。	
渡辺委員	○ 弦楽器は習う機会が少ないだろうと思う。	
教育長	○ まったく素人ではないが，やっていた楽器とは違う楽器で合格している人がいる。	
渡辺委員	○ 今，コンクールでも優勝して有名になっている山田和樹さんは，ジュニアオーケストラ指揮者としてずっと来ていただいていた。そうした良い方が来てくださっているようなので，頑張っていたきたいと思う。	
曾田委員	○ 常任指揮者は誰か。	
こども企画総務課長	○ 特に決めておらず，主任の大塚先生が演奏会の時にはリードをとってくださっている。	
曾田委員	○ 定期ごとに変わっているのか。	
こども企画総務課課長補佐	○ そうだ。	
教育長	○ 指揮者は山上先生だったと思うが。	

こども企画総務課課長補佐 曾田委員	○ 今年はそうだ。来年の定期演奏会は違う候補者があがっていた。
こども企画総務課長	○ 来年、50周年とのことだが、大きなイベントがあるのか。
曾田委員	○ 今、定期演奏会の際のバレエ（くるみ割り人形）の出演者を募集していたり、EDSの会議のおもてなしの演奏等も企画したりしている。
教育長	○ 出番が多いのは良いことだ。市立のジュニオケはめずらしく、岡山市を入れても数団しかないようなので、ぜひ、来年は活躍してほしい。
こども企画総務課長 曾田委員	○ 45周年のときには、小六禮次郎氏が創作楽曲を作曲してくれたが、そうした企画ないのか。
渡辺委員	○ そこまでは企画していないと聞いている。
指導課課長補佐	○ 卒団生には、有名な方も出ているので、活躍してほしい。
渡辺委員	○ いきいき学校園づくりが多く開催されているが、全体としてどういう状況であったのか。
指導課課長補佐	○ 期間中には16回行った。主には中学校であり、中学校区内の小学校・幼稚園からの参加が多数あったように思う。今までに比べて中学校区での連携が一段と進んだ。他の中学校区からも参加しているケースもあり、そうした面で広がりが見えてきたと思う。
渡辺委員	○ 以前、自分が参加した時には、保護者や地域の方など、地元の方が多く来てくださっていた。
指導課課長補佐	○ 2サイクル前までは、授業参観のようなかたちで地元の方が来てくださっている中学校区もあった。土曜授業の実施により、学校がいきいき学校園づくりを公開するのではなく、土曜授業を公開するケースが増えたのではないかと思う。
渡辺委員	○ 公開授業の後に、教育委員会と先生方とで授業の振り返りをしているが、気になったことがあれば教えてほしい。
指導課課長補佐	○ 全体会と分科会があり、全体会では、学校の全体に関する事、分科会では、それぞれの教員の授業について協議する。その中で、中学校は授業改善がかなり進んできたように思う。前サイクルより、本サイクルのほうがかなり良くなってきている。
渡辺委員	○ 具体的に授業改善というとは何か。
指導課課長補佐	○ 小学校では、当たり前のことだが、すべての授業で「めあて」があり、同じ方向を向いて授業づくりをしていこうというのが、多くの中学校でも見られる。
渡辺委員	○ 良くない点は何か。自分たちが行くと、荒れた様子は見たことがなく、子どもたちも落ち着いている。
指導課課長補佐	○ 当日は、子どもたちも一生懸命取り組んでいる。特に、当日何かがあることはない。
曾田委員	○ 自分が参加した学校の関係者から、地域協働学校の指定を受けていれば、もう少しいきいき学校園づくりもうまくいくのだが、という声があった。幼小中の連携の中で、地域協働学校の指定を受けているところと受けていないところで、何か差は出てきているのか。
指導課課長補佐	○ 特に感じたことはないが、地域協働学校の学校教育部会の中でいきいき学校園づくりを進めているところは、やはり取り組みやすい。今年度で言えば、福浜中学校区が、地域協働学校の中の学校教育部会の中で、授業改善等を行っているので、効果はあると思っている。
教育長	○ もっと情報が流れてくるだろうし、学校にも行きやすくなる。
曾田委員	○ 学校の立場から言うと、偶然かも知れないが、幼稚園へ小中の教諭の参加が少なかった。地域の方がほとんど来られていない。あるところでは、学校評議員をしているが、いきいき学校園づくりの案内がないと言われた方もい

指導課課長補佐	<p>た。学校によって違うし、それが全てではないのだが、地域協働学校の広がりと、いきいき学校園づくりがリンクすれば、もっとスムーズにいくことがあるのではないかと関係者の声を聞いていて思った。</p> <p>地域協働学校の中に部会を設けているのは特別な例か。</p>
曾田委員	<p>○ いろいろなケースがあるが、学校教育部会で授業改善を行っているケースが多いので、その中でいきいき学校園づくりとリンクして進めている</p> <p>○ 機能すればよいので、仕組みがあるかないかは二の次でよい。市教委が進めていることが重複すると学校も大変だろうから、うまく融合すれば動きやすくなるのではないか。</p>
審議監 (学校教育担当)	<p>○ 「地域協働学校」は、全校一斉ではなく、準備が整った地域から指定している。準備が整っていない地域は、小中連携においてもなかなか難しい面もあると感じている。いきいき学校園づくりは、どちらかという、「岡山型一貫教育」での取組だ。</p> <p>岡山市では、「地域協働学校」を横糸、「岡山型一貫教育」を縦糸とし、それを二本柱としているので、当然、両方そろっているほうが良いと考えているが、先ほどのような事情から、地域協働学校の方はなかなか前に進んでいかない。それに伴い、いきいき学校園づくりのほうもいくらか停滞する部分があるのではないかと思う。</p>
曾田委員	<p>○ 岡山型一貫教育と岡山市版コミュニティスクール（地域協働学校）がうまく合致すれば、最初は労力が掛かるだろうが、業務量が少なくなるかも知れないし、子どもたちの学力や生徒指導にも効果があるかもしれない。</p>
渡辺委員 指導課課長補佐	<p>○ 岡山大学・県教委との連携協力会議の内容を教えてください。</p> <p>○ 主な協議題として4点。1点目は、岡山大学が来年度に向けて計画している「地（知）の拠点整備事業」について、岡大の荒木副学長からから話があった。本年度は申請を行ったが、不採択になった事業で、改めて検討し、体制を整えば再申請をすることであった。</p> <p>2点目は、県および市教育委員会との連携協力事業の成果と課題について。市教育委員会から、いきいき学校園づくりで大学の先生にご指導いただいていることを主に報告した。</p> <p>3点目は教職大学院について。岡山大学から、岡山大学の教職大学院が、昨年度、認証評価機構から評価を受けた。教育委員会との連携もあって評価項目すべてに高い評価を受けたという話があった。</p> <p>4点目は、今後の連携協力事業の方向性について。主に学力・不登校・いじめ・暴力行為等で連携協力を引き続き進めていこうという話をした。</p>
渡辺委員	<p>○ 2点目の成果と課題、4点目の連携協力の方向性などで、議題の中身はどうだったのか。</p>
指導課課長補佐	<p>○ 2点目は、5月27日に開催した専門部会で今年度の取り組みについて話をした内容について報告した。特に、いきいき学校園づくりに大学の先生を招いて中学校区ごとに指導していただいている経緯についてと、ESDについて岡山大学に全面的に協力をしていただいていること、この2点について今後ともよろしくお願いをしたいという内容だ。</p> <p>4点目のほうは、今後の連携協力事業の方向性は、最初に、県教育長から課題と良い傾向について説明があった。</p> <p>課題については、次の5点が挙げられた。①算数の基礎基本の習得②放課後の補充学習の実施が他県に比べて低い③家庭での学習習慣が定着していない④習熟度別指導が中学校で若干弱い⑤キャリア教育について。</p> <p>良いこととしては、次の3点挙げられた。①小学生の家庭学習の時間が増えている②全国平均を上回る設問数が増えている③中学校区での小中連携が</p>

<p>曾田委員 審議監 (学校教育担当)</p>	<p>定着してきている。</p> <p>岡山市教育委員会からの追加として、学力については県の調べとほぼ同じ。家庭学習・放課後補充学習が課題となっており、家庭学習については、リーフレットを作成して対応しており、月3日以上休む子どもの不登校防止への早期対応を行っていることを報告した。</p> <p>○ そもそも会議の設置の意味は。何年から行っているのか。</p> <p>○ 平成12年頃に県と岡山大学の間で始まった会議であるが、平成21年に岡山市が政令指定都市になったこと、岡山大学との間に協定を結んだこともあり、三者合同の会議になった。具体的には、互いに協力できることはないかということをお話している。</p> <p>専門部会が、年に1回、連携協力会議が年に1回。本市からは教育長、教育次長、私、指導課長、学事課長などが参加。県からは教育次長、指導課長、生徒指導の担当室長などが参加、大学は、学科長をはじめ参加している。教育委員3名のうち、2名の方も参加してもらっている。</p> <p>今後の連携協力事業の方向性の中でのその他の話題として、新採用者のサポート体制について何かできることはないか考えているという話があったことを付け加えておきたい。</p>
<p>曾田委員</p>	<p>○ 去年、中央教育審議会が方針を出したことも、大きく後押しをすると思うが、教育改革の一環で、教員養成と採用と現場が密接に連携（高度の連携）を目指そうという動きをしている。</p> <p>岡山市は21年から、県は12年からだから、全国に先駆けて連携が早くできていると思う。メンバー的にもトップが出ており、かなり密な会議なので、機能しつつあると思う。採用した後の現場対応も含めてサポート体制も視野に入ってきたのではないかと。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 教育がクローズアップされてしまうが、「地（知）の拠点整備事業」というのは、市全体と大学との連携ということで、今回、提案があったものだ。ただし、採用されなかったようだ。</p>
<p>曾田委員</p>	<p>○ もう一度チャレンジすると聞いている。県内の他の大学では採用されたところもあると聞く。同じことを目指しているのではなく、バリエーションが色々あるようなので、もう少しインパクトを持たせて提出するのではないかと。教育の現場にとっても大きな力になるだろうし、岡山市と県と大学となると、さらに大きな力になる。</p>
<p>渡辺委員 指導課課長補佐</p>	<p>○ 教職大学院は、新採用のサポートと関係するのかわ。</p> <p>○ 教職大学院というのは2種類あり、現職の教員と、ストレートマスターとあって、大学生からそのまま大学院にあがった者。この二者が切磋琢磨しながら教育について考え、よりよい教員を目指すものである。マネジメント力をつけて、学校現場で生かすことを目的としている。</p>
<p>渡辺委員 指導課課長補佐 教育長 指導課課長補佐 教育長</p>	<p>○ 法科大学院のように、大学院で資格をとるものではないということか。</p> <p>○ そうだ。</p> <p>○ 大学生と現場から行っている教員は何人いるのか。</p> <p>○ 現場からは、岡山市から1名。県全体で8名だ。</p> <p>○ 学生は20名ぐらいか。それぞれが現場で、学校全体を見ていく力を持っていただく。学生にも専門性を高めてもらおう。免許は、普通免許が専修免許になる。</p>
<p>曾田委員</p>	<p>○ 普通の大学と並行して、法科大学院と同じように、専門職としての力をつける。</p>
<p>曾田委員 こども企画総務課長</p>	<p>○ 岡山市青少年健全育成大会の内容を教えてほしい。</p> <p>○ 明るい家庭づくりの作文・ポスターを募集しており、優秀作品の表彰と、</p>

曾田委員 こども企画総務課長	○ 参加者はどういう方たちか。
曾田委員	○ 青少年育成協議会の方を中心に、PTA、町内、表彰者の保護者、幼小中学校で取り組まれている先生方もおられた。
こども企画総務課長	○ 県が青少年のことを言っているが、熊谷准教授の講演の内容はどういうものだったのか。
曾田委員	○ 子どもにとっての学校、家庭、地域の連携・協働の大切さを中心とした話であった。
渡辺委員	○ 現実に力を発揮したら、うまくいくと思うので、たくさんの方に参加をしてほしいということで尋ねた。
こども企画総務課長	○ わくわくこどもまつりは、参加者が18,000人。すごいと思うが、どのような内容だったのか。
渡辺委員 教育長	○ 今年で10年目になる。今回は、たくさんの方にお越しいただいた。子育てに関わる51団体がブースを出して、遊びの体験や情報提供をドームの中で行った。外では、ぽかぽかわくわく屋台ということで、19団体が、いろいろな食べ物等を提供した。子どもたちが出演するステージも8団体。ダンスやマリンバの発表をしていた。今年は、参加者が多くとても大盛況であった。
曾田委員	○ 連休の中日だった。 ○ 最初の開会式で風船割りがあった。いろいろな団体、子ども会、幼稚園長会、保育園長会など、子育て関係団体のいろんなブースがあった。各団体が工夫をこらし、連塾も、小さな小屋を作っていた。ほんとに大掛かりで、多くの方が協力してくれていた。中学生のボランティアもいて、案内したり、手伝って一緒にやったりしていた。 ○ 子どもの育成には、うまくいっていると思っている。

7 議事の概要

曾田委員	○ 11月定例岡山市教育委員会を開催する。
曾田委員	○ 本日の傍聴希望者はいない。
曾田委員	○ 日程第1、会期は本日1日限りとしてよいか。
全委員	<承認>
曾田委員	○ 日程第2、10月定例会の議事録に問題はないか。
全委員	<承認>
曾田委員	○ 日程第3、教育長等の報告、事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
曾田委員	○ 日程第4、報告第11号を報告願う。
人事財務課長	○ 説明(報告第11号の資料に沿って説明)
教育長	○ 2月補正の減額と11月補正の減額の違いは。
人事財務課長	○ 人件費補正は基本的に11月に行う。2月補正は、通常、人事院勧告を受けたもので減額補正を行うが、今年は、職員の6か月給与減の措置があったので、それを改めて行う予定。
曾田委員	○ 減額の金額が大きいのは、小学校費・中学校費の賃金。幼稚園学事事務費の賃金は、岡山っ子育て局との関係か。
人事財務課長	○ 人件費の当初予算は、現年の1月1日現在で計算する。定年退職者はあらかじめわかっているのだから、当初予算で見込んでいる。幼稚園については、見込んでいなかった勸奨退職、普通退職が多かったこと。育児休業が見込み以上に多かったことにより、給料等の大きな減額となっている。

<p>曾田委員 人事財務課長</p>	<p>○ 例年より人数が多かったのか。 ○ 例年が良くわからないが、今回は、普通退職が4名、勸奨退職が3名。それらを見込みきれていなかったもので、減額が大きくなった。</p>
<p>曾田委員 全委員 曾田委員 曾田委員 スポーツ振興課長</p>	<p>それと、岡山っ子育成局設置に伴うものについては、各課に配分してあるので目立たないが、幼稚園の関係、社会教育の関係で11名異動になっており、減額の大きな部分を占めている。</p>
<p>曾田委員 全委員</p>	<p>○ 報告第11号を承認してよいか。 <承認></p>
<p>曾田委員 曾田委員 子ども企画総務課長</p>	<p>○ 報告第11号を承認する。 ○ 日程第4、報告第12号を報告願う ○ 説明（報告第12号の資料に沿って説明）</p>
<p>曾田委員 全委員 曾田委員 曾田委員 子ども企画総務課長</p>	<p>○ 質問意見はないか。 ○ 報告第12号を承認してよいか。 <承認></p>
<p>曾田委員 子ども企画総務課長 曾田委員</p>	<p>○ 報告第12号を承認する。 ○ 日程第4、報告第13号を報告願う ○ 説明（報告第13号の資料に沿って説明）</p>
<p>曾田委員 子ども企画総務課長 曾田委員</p>	<p>○ 次世代育成室の機構改革はいつからだったか。 ○ 本年、4月1日からだ。 ○ 室としては、何名体制か。</p>
<p>子ども企画総務課長 曾田委員</p>	<p>○ 子ども企画総務課へは生涯学習課から正規5名、嘱託職員6名が来ている。 ○ 教育総務費の幼稚園関係の、保育園・幼稚園管理事務費となっているが、ここに掲載されるのは、課の事務費の中の幼稚園関係だけを取り出しているのか。保育園の部分も入っているのか。</p>
<p>統括審議監</p>	<p>○ 保育園は別だ。 ○ 目は一緒でも、幼稚園は幼稚園、保育園は保育園として金額を出すのか。来年度以降は、保育と一緒にするのか。</p>
<p>曾田委員 統括審議監</p>	<p>○ 保育園・幼稚園課であっても、まだ、認定子ども園になっていないので、幼稚園として残る限りは、保育園とは一緒にならない。ここで挙がっているのは、幼稚園の業務をしている事務局職員の給料。育成局ができて、幼稚園の業務をするために異動した指導課の職員を含めた人件費だ。</p>
<p>曾田委員 統括審議監 曾田委員 統括審議監</p>	<p>○ 機構改革に伴う組織についての動きがあり、金額がついていく。 ○ 幼稚園という単体がある限り、幼稚園事務管理費という費目は変わらない。岡山っ子育成局が設置されて幼稚園の業務をするために教育委員会から異動した職員の給料分だと考えていただければよい。</p>
<p>曾田委員 渡辺委員 教育長</p>	<p>○ 補助執行とも関係するのか。 ○ 幼稚園は、そもそも教育委員会の所管なので、補助執行ということになる。 ○ スポーツ振興課と同じことか。 ○ スポーツ振興課は、予算上2つに分かれる。ここにあげているのは補助執行分だけだ。 ○ 予算がついているのだから、事業内容についても教育委員会で責任を持たなければいけない。 ○ 補助執行については、以前、かなり議論をしている。補助執行は一方的だと思っているが、そのときも、分かれてそのまま連携がとれないようになるといけないという議論をしたと思うが、今後も、少なくとも予算はこちらへ出てくるということにはなるということか。 ○ 認定子ども園に移行すれば、幼稚園はなくなるので、この予算自体少なくなる。</p>

渡辺委員	○ 補正予算とは直接関わらないが、そうなったときの連携はどうなるのか。こちらに情報はどのように入るのか。不安はないか。
教育長	○ 認定こども園自体については、育成局の所管になる。教育内容については、幼稚園の職員が行っているのだから、教育研究・研修センターとの連携等に関わりは生まれてくるのではないかと。ただ、軌道にのれば、こども園の中で教員指導・研修指導をしていかなければいけないのではないかと。と思う。
こども企画総務課長	○ 3歳以上は、認定こども園で全員が教育を受けられるということになっているので、そうした部分では教育委員会と内容については連携をしながら検討していきたい。連携の仕方がどういうふうになるのか具体的になっていくのかわからないが。
曾田委員	○ 認定こども園になっても、根拠になるのは、教育要領なのか。
こども企画総務課長	○ 新しい要領ができる。保育所の指針も3歳以上は、教育の要領に近い。3歳以上は教育に近いものになるのかと思うが、まだ国からは示されていない。
曾田委員	○ いろいろなことが懸念される。
渡辺委員	○ こども園だと教育委員会から離れるのか。
教育長	○ 教育内容に関しての連携は残るだろうが、責任体制については岡山っ子局となる。市として育成局の中で担当していく。方向性が出ているわけではないのははっきりとはわからない。
教育次長	○ 認定こども園は、内閣府が統括している。推測だが、どうして内閣府となったかは、保育園は厚生労働省、幼稚園は文科省がそれぞれ所管しているため、どちらにしてもうまくいかないだろうということ、第三者的に内閣府になったのではないかと。将来にわたって、内閣府が所管し続けるかどうかは別の課題があるのではないかと。思っているが、まだ分からない。
審議監(学校教育担当)	○ 一番悩ましいのが、新たに保育教諭という職種ができるが、教育公務員特例法の対象となることだ。教諭と同じ扱いで、保育士とは違う扱いだ。そうしたことから考えると、教育委員会に入ってくるのか、教育委員会が岡山っ子育成局に入るのかわからないが、どこかで一緒になることもあるかも知れない。
曾田委員	○ 岡山市の場合は、公立の幼稚園が多いから、他の自治体が参考にならないことが起きてくるのではないかと。制度についてはいろいろ言われているが、子どもは大きくなって卒園していく。育成局もできて、教育委員会に出席していただいているので、情報交換は割とできるのではないかと。と思う。
渡辺委員	○ 連携をしっかりとっていただきたい。
曾田委員	○ 報告第13号を承認してよいか。
全委員	<承認>
曾田委員	○ 報告第13号を承認する。
曾田委員	○ 日程第4、報告第14号を報告願う
保健体育課長	○ 説明(報告第14号の資料に沿って説明)
渡辺委員	○ 基金というのはどういうものか。
保健体育課長	○ 学童校外事故共済は、会費で成り立っている見舞金の制度。会費300円とその年度の見舞金で余ったものを基金に積み立てている。今回、前年度は103万4千円余ったものを基金に積み立て、見舞金の支払状況によって取り崩して対応しているものである。
曾田委員	○ 基金への組み入れは、来年度ではなく、年内に補正を組んでおかなければいけないのか。
保健体育課長	○ 銀行に預ける時期が、だいたい3月と9月に決まっている。今年度も、実際には流用して基金に積み立てている。それは、今年度支払う見舞金から払っているのだから、補正で予算を取って見舞金に戻している。そうしないと見舞

	<p>金が払えなくなる可能性があるので、その手続きのために補正予算をしているものだ。</p> <p>○ 収入は加入者何人分になるのか。</p> <p>○ 今年度は、43,971人分だ。</p> <p>○ 加入児童生徒の割合はどれくらいになるのか。</p> <p>○ 加入の対象者は、59,814人で、率にすると73.5パーセントである。</p> <p>○ 加入率としてはいい割合か。</p> <p>○ 少し下がってきている。</p> <p>○ 以前、何パーセントかを切ったら厳しくなるという話を聞いたが、目標は75パーセントだったか。</p> <p>○ 今は、73パーセント下回ると厳しい。</p> <p>○ 会費が200円的时候は75パーセントが最低ラインだった。このままだと危ないということで、昨年、会費を300円にした。その関係で、基金の積み増しができるようになったと考えていただきたい。それまでは基金を崩しながら対応していた。</p>
曾田委員 保健体育課長 曾田委員 保健体育課長 曾田委員 穂対 渡辺委員	<p>○ 基金からとり崩す見舞金は年々増えているのか。</p> <p>○ 横ばい状態だ。</p> <p>○ この制度は、学校外で事故があったときのものだが、死亡した場合も出るのか。</p>
保健体育課長 渡辺教育次長	<p>○ 80万円の見舞い金が出る。それを想定すると、100万円の繰越しが20万円の繰越しになり、財政的には苦しくなる。</p>
曾田委員 保健体育課長 渡辺委員	<p>○ 事故があったとき、お金が出たからといってどうにもならないが、せめてものものとして加入してほしい。</p> <p>○ 報告第14号を承認してよいか。</p>
渡辺教育次長	<p><承認></p>
渡辺委員	<p>○ 報告第15号を承認する。</p> <p>○ 日程第4、報告第15号を報告願う</p> <p>○ 説明（報告第15号の資料に沿って説明）</p>
曾田委員 全委員 曾田委員	<p>○ 防球ネットの上を越えたのか。</p> <p>○ そうだ。</p> <p>○ ネットが低かったのか。</p>
渡辺委員 保健体育課長 渡辺委員 保健体育課長	<p>○ 岡山市が作っている防球ネットが10メートルあったが、1年生で入部したばかりで力の加減がわからないこともあり、打球が真上に上がったようだ。</p> <p>○ 防ぐといっても、こういう場合はある。</p>
渡辺委員 曾田委員	<p>○ 車がへこむぐらいだから、人に当たっていたら大変だったかもしれない。中学校の部活は何か言われたりしていないか。</p>
保健体育課長	<p>○ 1年生であり、技術的に未熟だったということで、偶然出てしまった。岡山市のグラウンドの形状もそういう形状になっているところもある。意識的に出ないようにできるかと言われると、できるだけそちらに打たないようにするということはあるかも知れないが、難しい。</p>
曾田委員	<p>○ 運動場と道が接しているところはたくさんあるだろう。偶然とは言え、事故が起きるとそんなことは言っていられないかも知れないので難しい。</p>
曾田委員	<p>○ 市長会の学校災害賠償保険というのは、学校管理下、管理外の両方で適応されるのか。</p>
保健体育課長	<p>○ 基本的には管理下になる。市もしくは学校に賠償責任が生じる場合に出る保険。</p>
曾田委員 保健体育課	<p>○ 子どもが課外とか学校の中で起こしたことに対して、適用される保険か。</p> <p>○ 子どもだけではなく、学校の施設、例えば、壁が崩れて、外から来た人の</p>

<p>統括審議監</p>	<p>車を傷つける。草刈機で石を飛ばして物を傷つけるなどの場合にも適応される。</p> <p>○ 昨年、上道中学校で、草刈中に石が飛んで車を壊した件を報告したと思うが、保険に加入する前だったので、全額市の方から賠償した。保険に加入していれば適用できた。</p>
<p>橋本教育次長 曾田委員 曾田委員</p>	<p>○ 以前から対人には加入していたが、対物は加入していなかった。</p> <p>○ 加入していたら、今のようなことが起こったとき安心だ。</p> <p>○ 物でも人でも大丈夫であるということで、管理外でも関係なく責任があれば適応されるということか。</p>
<p>保健体育課長</p>	<p>○ 教育活動中であれば、適用される。校外活動など、学校の外でも市に責任があれば対象になる。</p>
<p>曾田委員 保健体育課長</p>	<p>○ P T A主催の活動は入るのか。</p> <p>○ 対象にならない。</p>
<p>教育長 曾田委員</p>	<p>○ 学校にすべての瑕疵がある場合にとということか。</p> <p>○ 以前からあった保険か。</p>
<p>保健体育課長 曾田委員 橋本教育次長 渡辺委員</p>	<p>○ 以前からあった保険だが、岡山市は入っていなかった。</p> <p>○ 今回は、対物で済んだが、気になるのは対人になったときだ。</p> <p>○ 対人には以前から入っていた。</p>
<p>教育長 統括審議監 渡辺委員 統括審議監</p>	<p>○ 金額は57,000円程度。例えば、事故を起こして、もめて裁判になる時に、以前は弁護士費用を自分で払わなければいけなかったのが、最近は、民間の任意保険でも弁護士特約といって、弁護士費用も保険で出る特約が広まっている。そうすると、過失割合でもめると、57,000円程度でもお互い意地になっているので、裁判になることが多い。</p> <p>市でも、過失割合でもめて、裁判になることもあるのではないかと思うが、そういったことに巻き込まれたことはないか。</p>
<p>曾田委員 保健体育課長</p>	<p>○ 和解というのはあるが。</p> <p>○ 示談はしていると思うが、あまり訴訟というのはいない。</p> <p>○ この程度の金額でも訴訟になることがある。</p>
<p>曾田委員 全委員 曾田委員 曾田委員</p>	<p>○ 弁護士特約の関係で話をすれば、今、公用車はリースになっている。以前は、市の所有車で、市町村共済という、いわゆる互助会のようなものに加入していたが、もめた時に弁護士が入ってくれるような特約は一切なかったので、職員が交渉して示談して、これで良いかという伺いを共済に立て、共済が承認していた。リースになってからは、弁護士特約があるので、示談交渉自体が無くなっている。</p> <p>○ 今回のような場合は保険会社が動いてくれるのか。</p> <p>○ 和解をするときに、今回の件は、全額補填される案件だったので、もめるようなことになっていない。</p> <p>○ 報告第15号を承認してよいか。</p> <p><承認></p> <p>○ 報告第15号を承認する。</p> <p>○ 以上をもって、平成25年11月教育委員会定例会を閉会する。</p>

<p>傍聴の状況</p>		
<p>報 一</p>	<p>道 般</p>	<p>0名 0名</p>

